



おのの 小野 欽 市

かいしん 改津クラブ

市民交流と地域振興につなげる施策展開は

問 東京オリンピックに向けたカナダレスリングチームのサオリーナでの事前合宿が決定した。この機会に、市民とカナダ選手団との交流や、カナダの産品を使ったフェアの開催、サオリーナから市内各地への巡回バスの運行、また、なぎさまちからサオリーナへとつながるにぎわいの創出など、市民交流と地域振興につなげる施策展開についての考えは。

子どもたちへのレスリング指導などを提案

答 カナダレスリングチームと市民との交流については、関係者による歓迎レセプション、子どもたちへのレスリング指導、日本文化の体験、市民へのトレーニング公開、パネル展等によるカナダの紹介などを提案している。今後、事前合宿の日程協議を進める中で、具体的な調整をしていく。

また、カナダ関連の地域振興につながる種々の取り組みについては、産品フェアなどの提案も含め、今後、具体的な内容を調整していく中で、関係者へ働きかけを行っていく。

●その他の質疑・質問●

- 施政方針から
 - 部活動の顧問としての部活動指導員の増員について
 - 市民が健やかで穏やかな人生を送るための施策について
- 教育方針から
 - 県教育委員会からの指示を、いかに現場に伝えているのか
 - きゅうめいノートの活用について
- 観光振興について など



▲建設以来、多くの市民が訪れるサオリーナ



かとう みえこ 加藤 美江子

こうめいとうぎいんだん 公明党議員団

婚活支援に対する取り組みは

問 日本の少子化は、ヨーロッパと違い「結婚する人が少なくなっている」ことによるものである。日本では90年代、少子化が始まっていたが、夫婦は平均2.2人の子どもを産んでいた。つまり、結婚しない人の増加が少子化の原因であると考えられるが、一方で、調査によると未婚者の90%以上が結婚を望んでいることから、婚活支援の専門部署を設けるべきではないか。

事業成果を検証して、取り組んでいく

答 婚活支援事業については、現在子育て推進課が中心となって、若手職員によるプロジェクトチームと共に業務を行っており、イベント参加者と同世代の若手職員の意見や発想をもって事業に取り組むことで、成果につながっている。

新たな部署を設ける予定はないが、2019年度には事業開始5年目を迎えることから、これまで取り組んできた事業の運営や体制などの検証を行い、見直しにも取り組んでいく。

また、先進地の出会い応援事業や、参加者へのフォローを継続的に行っていることなどを参考に、婚活支援に取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

- 施政方針から
 - 1丁目1番地に掲げた子どものための施策と少子化問題は
- 教育方針から
 - 教員支援員、部活動支援員の増員について
- 子どもの命を守る政策
 - いじめの問題について
 - 児童虐待防止の窓口としての「子ども家庭総合支援拠点」の設置について など



▲津市出会い応援事業プロジェクトチームのイベントチラシ